

神戸東部支部は、神戸市中央区の災害復興住宅を中心に活動しています。

活動拠点は、「脇の浜地域復興センター」「県営脇の浜住宅」「兵庫医療大学」で、月1回の開催を実施しています。

来所される地域住民の方に血圧測定・体脂肪測定・健康相談を行い、イベント月の骨密度測定など住民のニーズに沿った活動をしています。さらに、地域のイベントに参加し、住民の方に血圧測定・体脂肪測定・健康相談を行う出前隊活動も行っています。

今年度は、コロナ感染の蔓延で支部活動が十分にできなかったことが残念です。今後の活動は、感染対策をふまえて活動していきたいと考えています。



令和2年 各拠点エピソード

脇の浜地域復興センター

毎月の参加者は10名程度、ボランティア看護職3名で担当しています。血圧測定の結果や健康相談が中心です。来所者の方が、入院していた時の看護師が、ボランティアとして健康相談を担当している姿を見て「あの時はお世話になりました」と挨拶に来られ、地域住民の健康を守ってくださっていると大変喜んでおられました。

県営脇の浜住宅

毎月の参加者は13名程度、ボランティア看護職3名で担当しています。自治会の方針で、令和2年2月で活動休止になりました。同時期に開催している麻雀サークルの方は、「まちの保健室」での血圧測定と健康相談を受けてからサークルに参加していたので「さびしい」との声もありました。

兵庫医療大学

大学イベントのオープンキャンパスや大学祭に併設し活動している拠点です。

今年度は、コロナ感染拡大で大学自体の休校もあり十分な活動ができませんでした。

ボランティアの声

全く活動できていないこの1年でしたが、新規のボランティア登録をしてくださった看護師がおられます。コロナ禍だからこそ健康相談の重要性を感じておられると思います。東部支部はそのようなボランティア看護職が活動できる場づくりが必要だと痛感しています。

今後の活動課題

支部活動も十分に行えない1年でした。コロナ感染の状況を注意深く観察し支部委員会を計画しましたが、自粛宣言で会議が流れてしまう状況でした。東部支部はweb会議を推進しコロナ禍で開催する「まちの保健室」を検討していきたいと思っています。

